夜の高校
わかることのよろこびを　つくることのたのしさを
北海道苫小牧工業高等学校
定時制課程 工業技術科

◆工業技術科◆　新設の学科

令和３年度より、既存２学科を統合し１学科に

募集停止

機　械　科

機械工業に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得する

建　築　科

建築物を完成させるまでの一連の過程において必要な基本的な知識と技術を習得する

統合

令和５年度（令和６年３月）
機械科、建築科　閉科

令和６年度（令和６年４月）
１～４学年全て　工業技術科

北海道初となる学科が誕生！！

工業技術科

工業技術の多様化、社会構造の変化に対応できる新たな時代のものづくり産業を支える技術者を育成する

◆工業技術科◆　基本方針

① 工業の基礎・基本を理解するとともに、各分野の知識と技術を身に付けさせる

② 工業技術者として調和のとれた心と体を育み、自ら課題を発見し解決する力を養う

③ 工業技術を活用し、社会の発展のために主体的・協働的に取り組む態度を養う

◆工業技術科◆　コンセプト

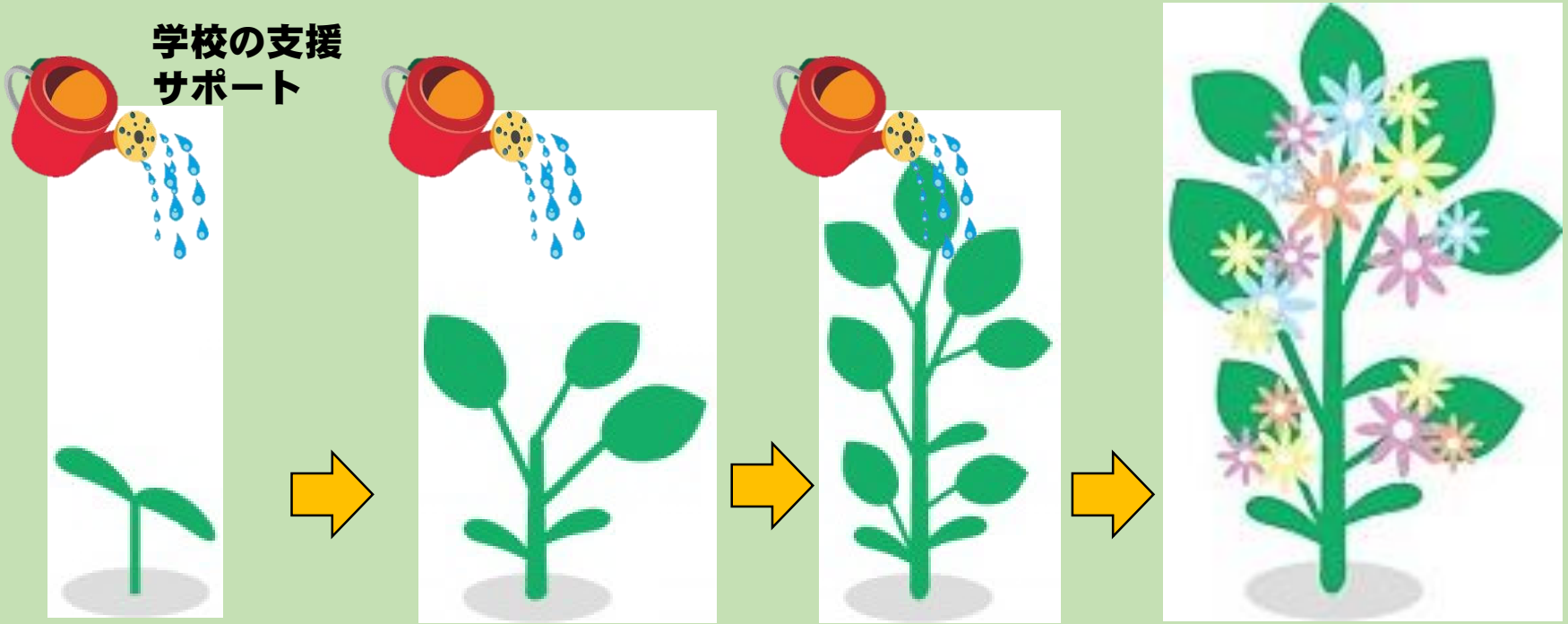
① 基礎的・基本的な学力の確実な定着

② 分野の枠を超えた専門性を習得

③ 実習を重視した専門科目の配置

④ 金属加工と木材加工に重点をおいた「ものづくり教育」の推進

◆工業技術科◆　コンセプト



入学時　　1～2年生　　3～4年生　　卒業後

工業の
基礎的知識・技能の習得

工業の
専門的知識・技能の習得

基礎学力の醸成／健全な心身の育成／社会性・人間性の育成

社会で活躍
できる職業人

◆学習内容◆　カリキュラム

普通科目
４６単位

【基礎学力の醸成】

国　語：９単位
地　歴：６単位
公　民：２単位
数　学：９単位
理　科：４単位
外国語：３単位

【健全な心身の育成】

保　体：９単位
芸　術：２単位
家　庭：２単位

【基礎的知識・技能の習得】

工業数理基礎：２単位
情報技術基礎：２単位
材料技術基礎：２単位

座学系専門科目
６単位

【基礎的知識・技能の習得】

工業技術基礎：３単位
製　　図：６単位

【専門的知識・技能の習得】

実　　習：10単位
課題研究：３単位

実習系専門科目
２２単位

◆学習内容◆　カリキュラム

令和３年度　入学者教育課程

年度			令和３年度入学者				
学年			１年	２年	３年	４年	計
教科	科目	標準単位					
国語	国語総合	4	3	2			9
	国語表現	3			2	2	
地歴	世界史Ａ	2		2			8
	日本史Ａ	2			2		
	地理Ａ	2	2				
公民	現代社会	2				2	
数学	数学Ⅰ	3	2	2			9
	数学Ⅱ	4			2	3	
理科	科学と人間生活	2	2				4
	物理基礎	2			2		
保体	体育	7～8	2	2	1	2	9
	保健	2	1	1			
芸術	美術Ⅰ	2			2		2
外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	3	2	1			3
家庭	家庭基礎	2		2			2
普通教科・科目合計			14	12	11	9	46

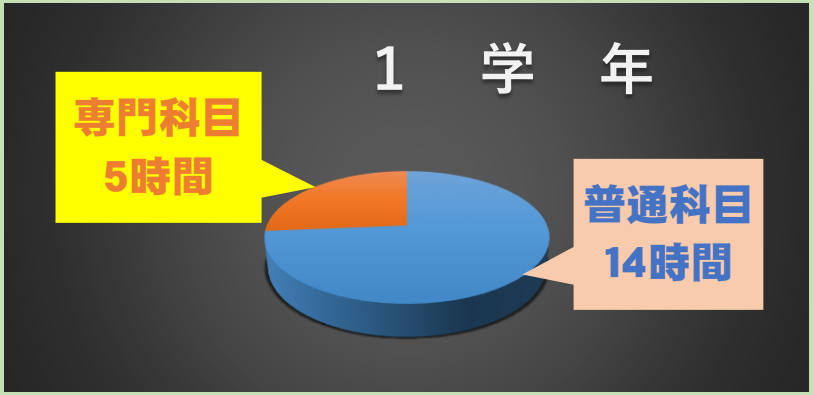
工業	工業技術基礎	2～4	3				3
	課題研究	2～6				3	3
	実習	6～12		3	3	4	10
	製図	2～10		2	2	2	6
	工業数理基礎	2～4	2				2
	情報技術基礎	2～4		2			2
	材料技術基礎	2～4			2		2
工業科目合計			5	7	7	9	28
教科・科目合計			19	19	18	18	74
特別活動	ＬＨＲ		1	1	1	1	4
合計			20	20	19	19	78

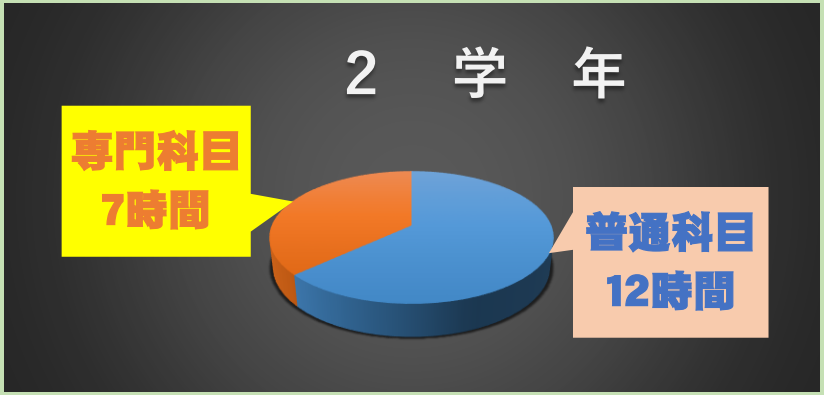
普通科目 → ４６単位

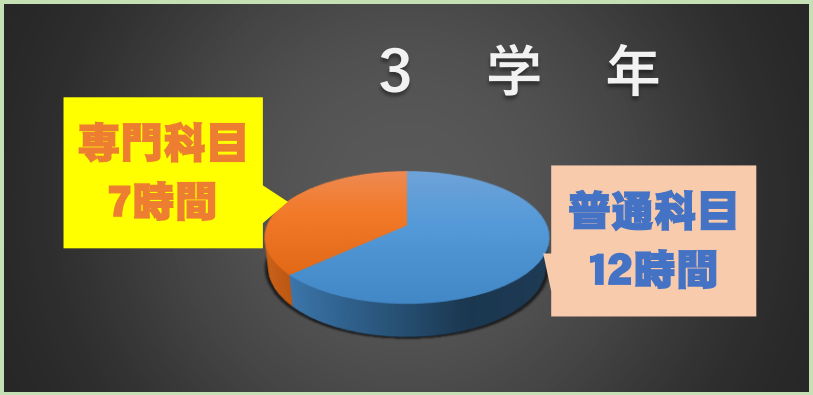
専門科目 → 座学系 ６単位

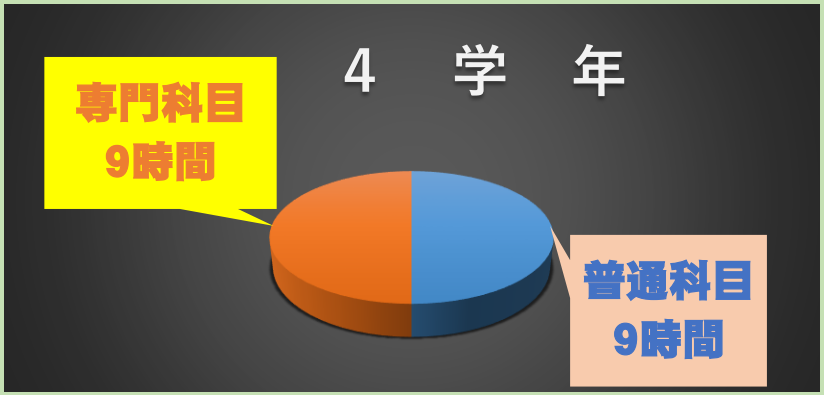
専門科目 → 実習系 ２２単位

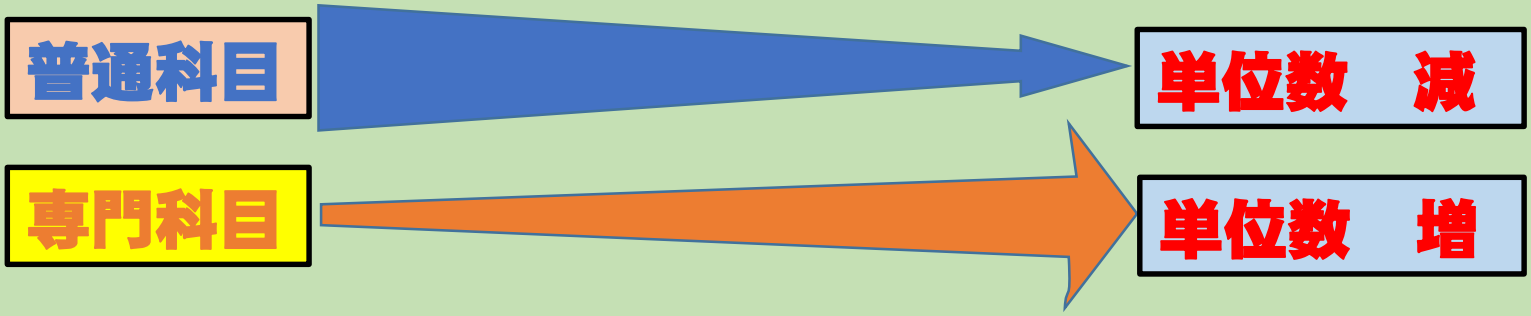
◆学習内容◆　単位数











学年進行 →

◆学習内容◆　ねらい

普通科目

読み・書き・計算等の基礎を１学年から丁寧に学習し、わかることのよろこびと基礎学力の定着を図る

専門科目

実習（ものづくり）を重視し、金属と木材の材質を理解し、設計・加工するための技術・技能を身に付け、つくることのたのしさを実感する

◆学習内容◆　専門科目の構成

工業技術を学ぶ上で必要な基礎知識

工業数理基礎　**情報技術基礎**

金属加工・木材加工を学ぶ上で必要な基礎知識

工業技術基礎　**製図**

実践的・体験的な学習活動

実習　**課題研究**

資源の有効活用
リサイクル
環境保全

材料技術基礎

- 木材と金属の性質と構造
- 安全で安心な製品の製造
- 工業製品の効果的な利用
- 工業材料と環境

金属加工、木材加工の
知識と技術・技能の習得

→

自らの創意工夫で新たな時代の
ものづくり産業の担い手を育成

◆ものづくり◆　実習からの学び

① 実践的・体験的な学習で、**理解を深化**させ、**学ぶ意欲**を向上させる

② 様々な課題に向き合い、解決していくことで、**ものづくりに関する確かな知識や技術**を身に付ける

③ ものづくりにおける協働作業などを通して、仲間との**コミュニケーション力**を高める

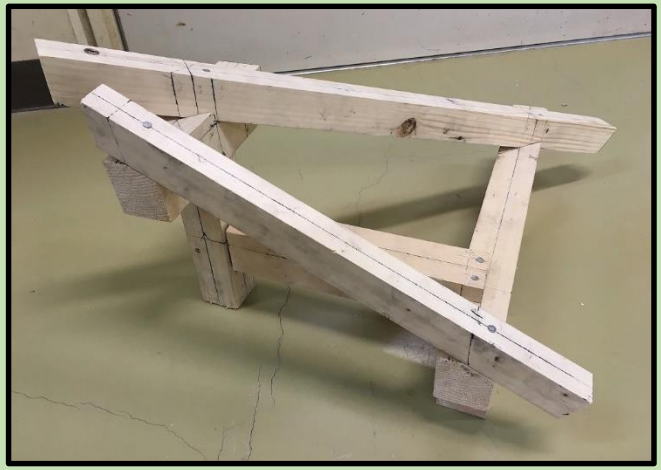
④ ものづくりを通して、**職業人に求められる倫理観**、**社会に貢献する意識**を育む

◆ものづくり◆　木材加工の例

道具箱の製作

継手・仕口の加工

プランターの製作



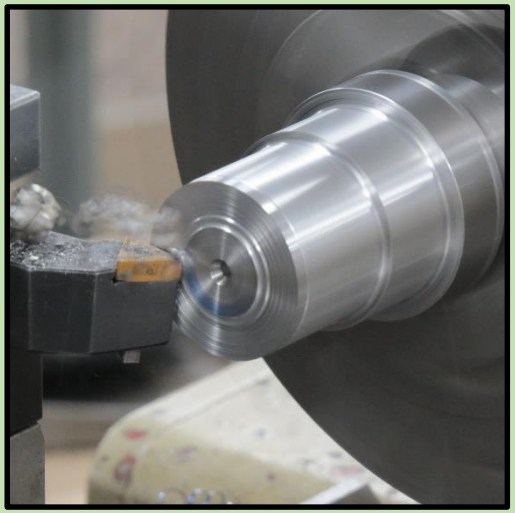
マイスターによる実技講習

◆ものづくり◆　金属加工の例

バーベキューコンロの製作

燻製器の製作

ガス溶接による金属切断



旋盤による金属切削

◆資格◆　取得可能な資格

①　工業技術の基礎となる資格

計算技術検定　情報処理検定　トレース技能検定
ＣＡＤ検定　ＱＣ検定　トレース検定　危険物取扱者

②　金属加工に関する資格

ガス溶接技能講習

③　木材加工に関する資格

技能検定（建築大工）

④　その他の資格

日本語ワープロ検定

◆進路◆　卒業後の進路

長年の進路指導で培った ノウハウで確実なサポート

就　職

＜主な就職先＞
トヨタ自動車北海道（株）　アイシン北海道（株）
（株）イワクラ　越智建設（株）　（株）三星
丹野工業（株）　苫小牧埠頭（株）　（株）川秀
ライフ工業（株）　（株）ザ・ニドム
（株）日本ニューホランド　苫小牧広域森林組合

進　学

＜主な進学先＞
北海道科学大学　北海道情報大学
日本福祉大学　北海道自動車短期大学
日本工学院北海道専門学校
北海道ハイテクノロジー専門学校
苫小牧高等技術専門学院

◆補足◆　夜に学ぶ工業高校です

① 授業は、夕方5:35から夜8:55まで

② １日４時間（週20時間）の授業

③ ４年間で卒業、卒業後は就職・進学

④ アルバイトなど働きながら学べる

⑤ 幅広い年齢、多様な入学動機の生徒

⑥ 専門業者委託の希望給食を提供

⑦ 教科書無償貸与（条件あり）

⑧ 自転車、二輪車、自動車通学可能

◆補足◆　学校での一日

１７：００頃　登校

仕事が終わって夕方に登校

１６：５０～１７：３０　給食

毎日美味しい給食

１７：３５～１７：４０　ＳＨＲ

出席を確認してスタート

１７：４０～１８：２５　１校時

【コミュニケーション英語Ⅰ】

英語で楽しく伝え合い

１８：３０～１９：１５　２校時

【科学と人間生活】

みんなで化学の実験

１９：２０～２０：０５　３校時

【実習】

工具を使って木材加工

２０：１０～２０：５５　４校時

【実習】

工作機械で鉄材を切断

２０：５５～２１：００　ＳＨＲ

教室をきれいに掃除

２１：００～２２：００　放課後

部活動に汗を流します

◆補足◆　部活動

運動系　バスケットボール部　卓球部　バドミントン部　フットサル同好会

文化系　工業研究部　新聞局

バドミントン部　平成３０年度　令和元年度
北海道高等学校定時制通信制全道大会出場

工業研究部　各種建築、設計コンテスト
（全道大会、全国大会）金賞受賞、最優秀賞受賞、優秀賞受賞　多数

◆補足◆　学校行事

１　学　期

４月　入学式　１学期始業式
　　対面式　部紹介
　　定期健康診断　交通安全集会
５月　定通体連地区大会
６月　定通体連全道大会
７月　学校祭　夏季休業
８月　夏季休業　定通体連全国大会
９月　１学期期末考査
　　校内生活体験発表大会
　　１学期終業式

２　学　期

10月　学期間休業　２学期始業式
　　見学旅行　修学指導事業
11月　学校見学会
12月　体育大会　冬季休業
１月　冬季休業　課題研究発表会
２月　予餞会　２学期期末考査
　　賞状授与式
３月　卒業証書授与式
　　２学期終業式

入学式

対面式

定通体連

定通体連

学校祭前日祭

学校祭展示作品

学校祭バザー

修学指導事業

見学旅行

体育大会

予餞会

卒業式